

2023
復活祭

「打ち砕かれて 主の愛を知ろう」

イースター礼拝

ペテロとユダ

Shikaoichurch.com

A sunset over a body of water with a small boat in the distance. The sky is filled with orange and yellow clouds, and the water reflects the light. A small boat is visible on the right side of the water.

アウトライン

I. ペテロの罪

II. ユダの罪

III. 和解の食卓

IV. まとめと適用」

打ち砕かれて 主の愛を知ろう



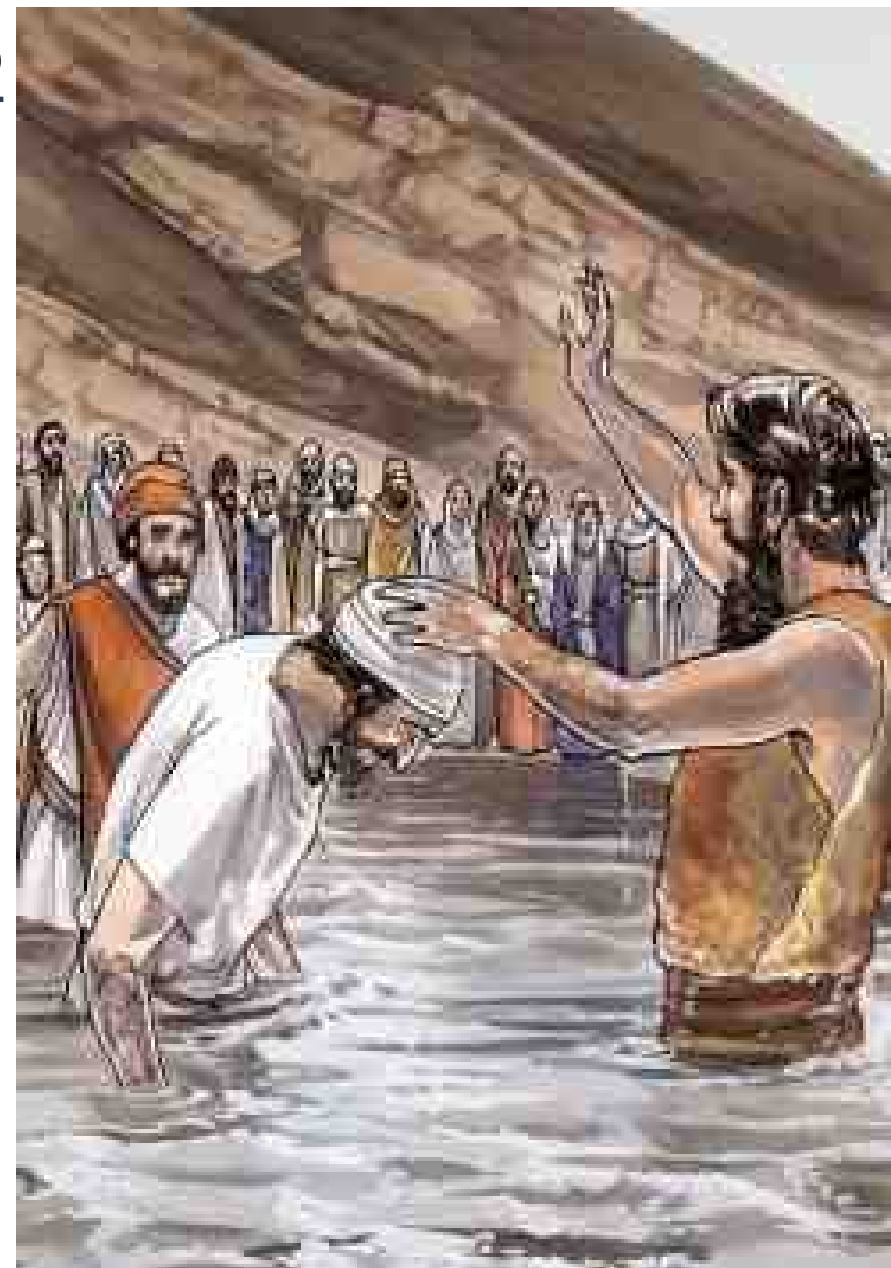
1. ペテロの^{つみ}罪

ペテロとイエスの出会い ヨハネ1:42

■ ガリラヤ湖の漁師だったペテロは、荒野の洗礼者ヨハネの元へ通っていた。

■ ある時現れた、イエスこそメシアだとヨハネが宣言。以来、ペテロは、イエスの弟子となった。

■ ペテロは漁師の傍ら、時間を作ってはイエスのもとへ通っていた。



弟子となったペテロ

マタイ4章他

■ 不漁を嘆くペテロを、イエスが訪問し、真昼に、網を下ろすようにと命じた。

■ 渋々従った弟子たちは、ありえない豊漁に驚き、ペテロは恐れひれ伏した。

■ 「人間をとる漁師にしよう」と言われ、ペテロは、フルタイムの弟子となった。



イエスの湖上の奇跡

マタイ14章他

- 弟子たちは、船に乗っていて大嵐にあった。そのとき、イエスが湖の上を歩いてきた。
- イエスに呼ばれて船の外に出たペテロも湖の上に立ったが、すぐに怖くなった。
- 沈みかけたペテロをイエスが助けられた。ペテロは、イエスは神の子だと、礼拝した。



主イエスの十二弟子

マタイ10章他

■ イエスは、12人の弟子を特別に選び、ペテロをリーダーに任命された。

■ イエスは、たくさんの奇跡を行った。重い病気や障害も、次々に癒やされた。奇跡は、イエスがメシアである証拠だった。

■ ナザレのイエスこそ、イスラエルのメシアだと、弟子たちは人々に伝えていった。



ペテロの信仰告白

マタイ16章他

■「わたしを誰だと言いますか」

ある時、イエスが弟子たちにたずねた。

■「あなたは生ける神の子、メシアです」と
ペテロは答えた。

■天の父である神ご自身が、明らかにされたのだとイエスは告げた。



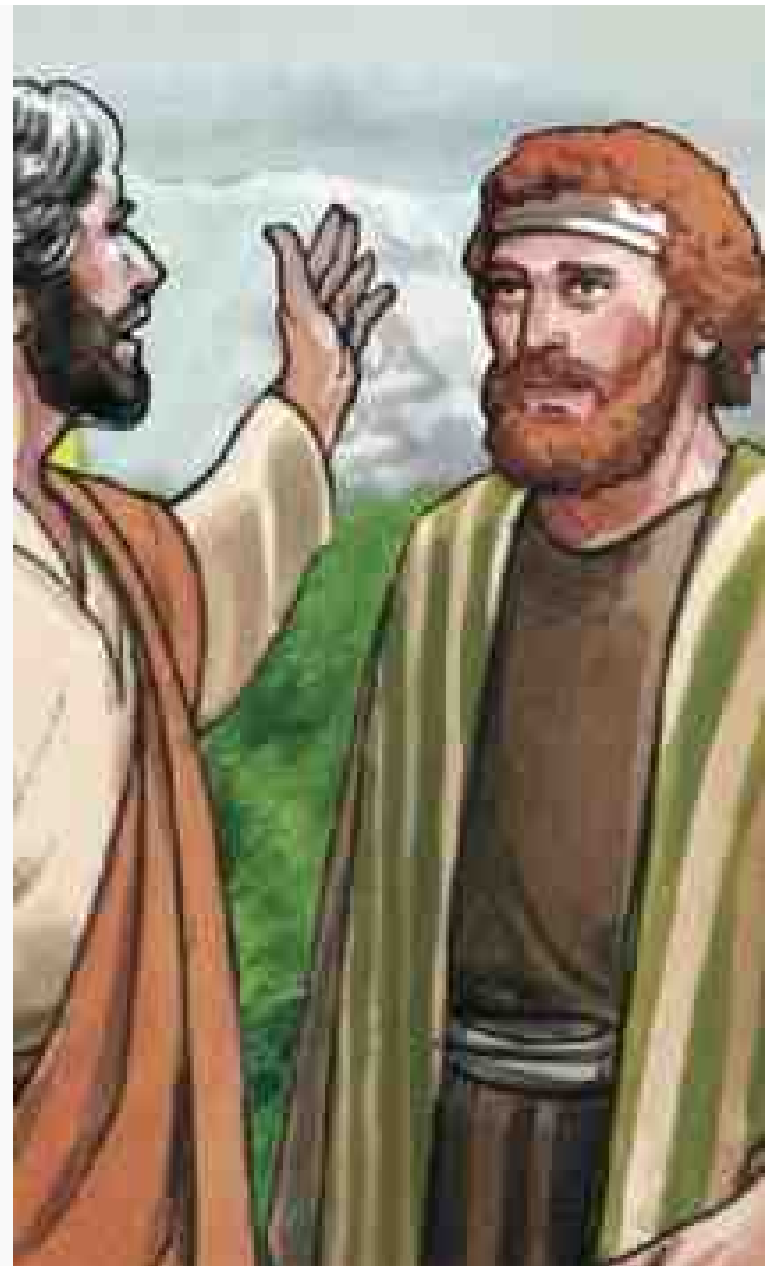
ペテロの信仰告白

マタイ16章他

■ 続いてイエスは、エルサレムで苦難を受け、殺され、三日目に復活すると話し始めた。

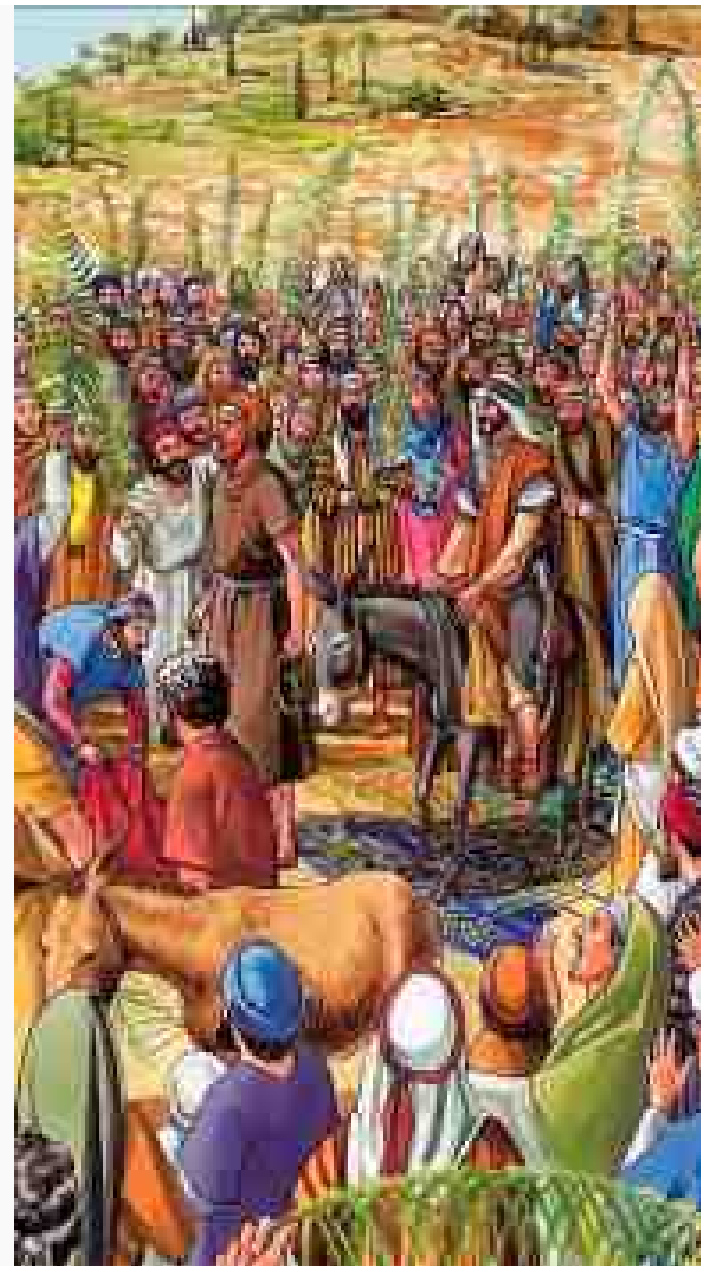
■ ペテロは、イエスを脇に連れていさめた。そんなことが起こるはずがないと。

■ イエスはペテロに言った。
「下がれ、サタン。あなたは神のことを思わず、人のことを思っている。」



イエスのエルサレム入城 マタイ23章他

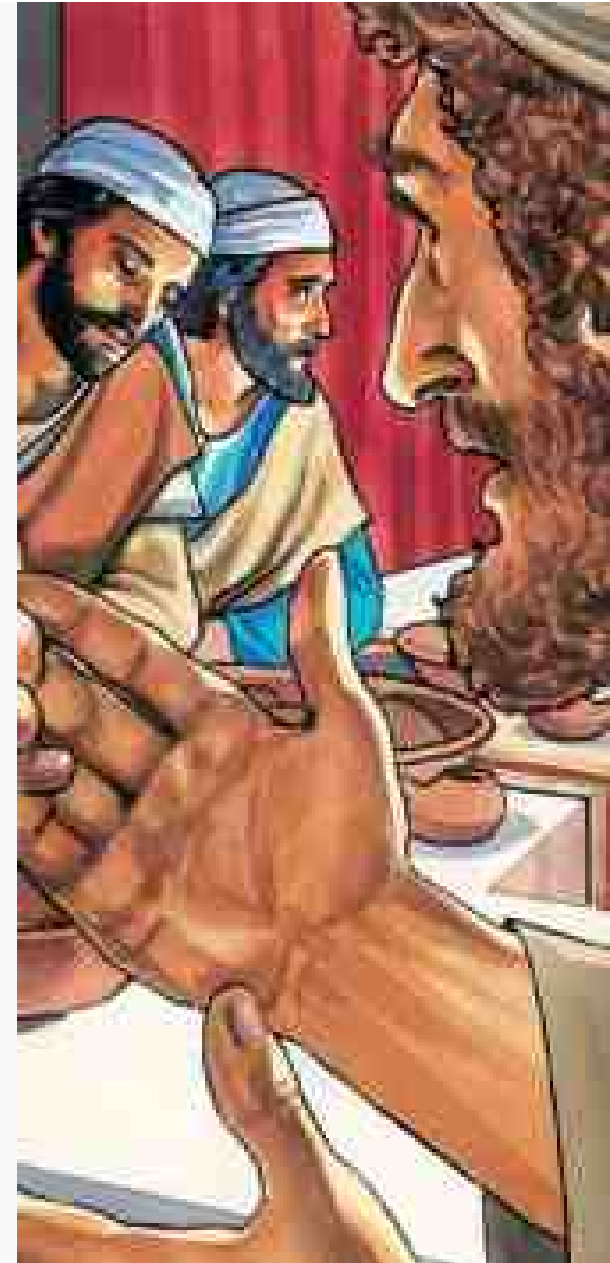
- 3年目の過越祭。ロバにのったイエスを、人々は、平和の王・メシアとして歓迎した。
- しかし、エルサレムの指導者たちは、騒ぎをやめさせようとやっきになった。
- 彼らはイエスはメシアではないと拒絶し、殺害を計画していた。



弟子たちの裏切りの予告

マタイ26章他

- 過越の祭りの食事の席で、イエスは、弟子たちの逃亡と、ペテロの否認を予告した。
- 「決して知らないなどとはいいません」とペテロは、死をも辞さないと言断言した。
- イエスは、ペテロが、鶏が鳴く夜明け前に、三度、知らないと言うと宣言された。



捕らえられたイエス マタイ26章他

- その晩、弟子のユダの裏切りでイエスは捕らえられ、大祭司の屋敷に連れていかれた。
- ペテロは、あとをつけていくと大祭司の屋敷に、こっそり入りこんだ。



一度目の否定

- 一人の女が、ペテロに気づき、「イエスと一緒にいたね」と言った。
- 「何を言っているか分からない」とペテロは答えた。



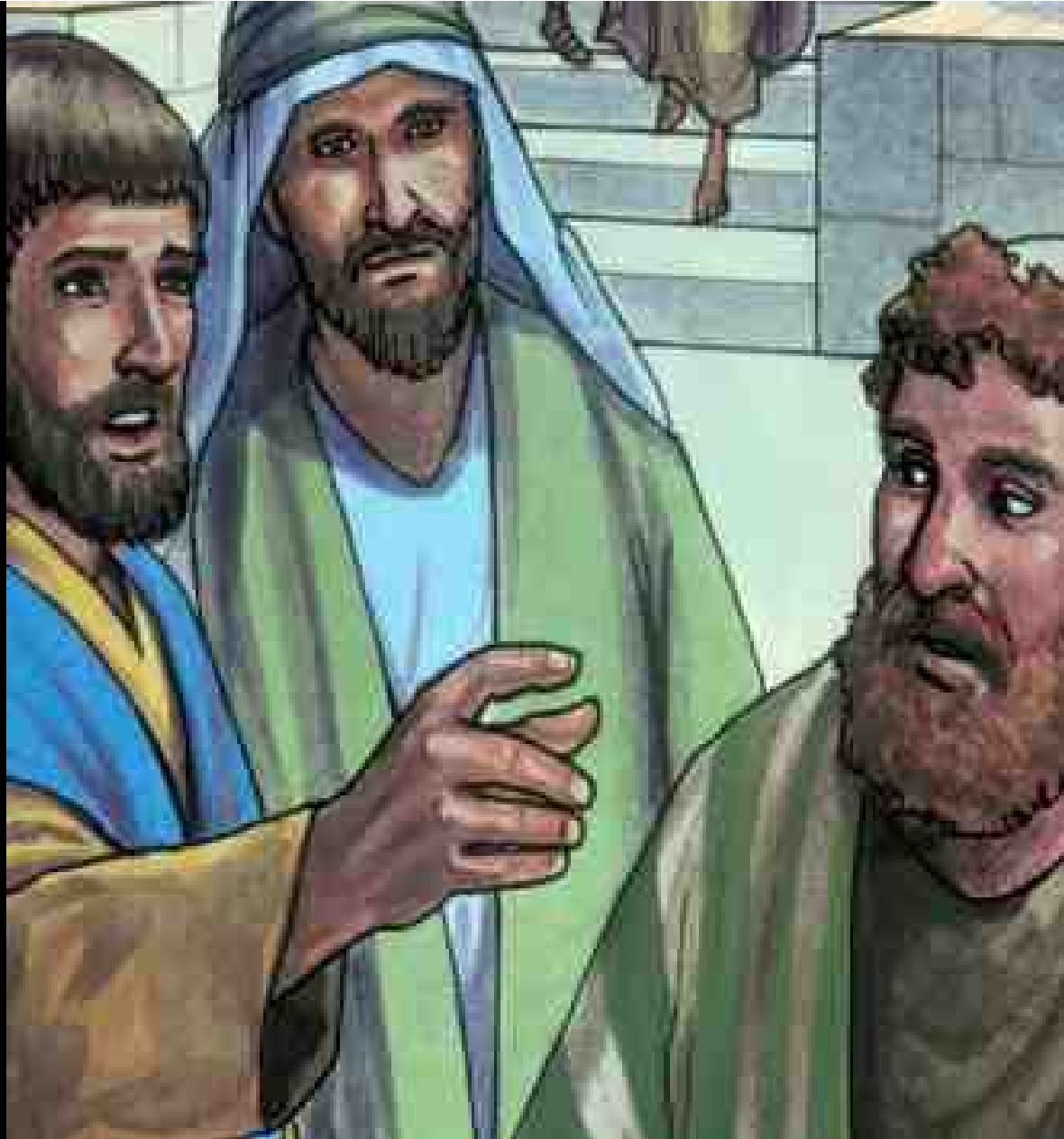
二度目の否定

- しばらくすると別の女が、「この人はイエスと一緒にいました」と言った。
- 「そんな人は知らない」とペテロは答えた。



三度目の否定

- 別の人たちが言った。
「たしかにあの人の仲間だ、
言葉のなまりで分かる」
- 「そんな人は知らない」
ペテロは、呪いすら口にし、
はきすてて言った。



するとすぐ、
彼がまだ話しているうちに、鶏が鳴いた。

主は振り向いてペテロを見つめられた。

ペテロは、
「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度
わたしを知らないと言います」
と言われた主のことばを思い出した。

ルカ22:60～61



三度目の否定

- ペテロは、外に出てはげしく泣いた。





II. ユダの^{つみ}罪

弟子のユダ

- ユダは12人の弟子の一人。
- ダビデ王を生んだイスラエルの最大部族ユダの名をつけられた者。
- イエスにも、他の弟子たちにも信頼され、会計を受け持っていた。



弟子のユダ

ヨハネ6章

■「私は天から下ったいのちパンだ」と、イエスが告げたとき、多くの弟子がつまずき離れ去った。

■残った12弟子にイエスは言われた。「あなたがたのうちの一人は悪魔です」

■イエスは最初からユダの裏切りを知っていた。



ユダの秘密

マタイ26章他

■ 過越祭が近づいたある日、一人の女が高価な香油をイエスにかけた。

■ ユダは、香油を売れば、貧しい人にほどこせたのに、と女を責めた。

■ 実は、ユダは、預かった会計の金を盗んでいた。



ユダの陰謀

マタイ26章他

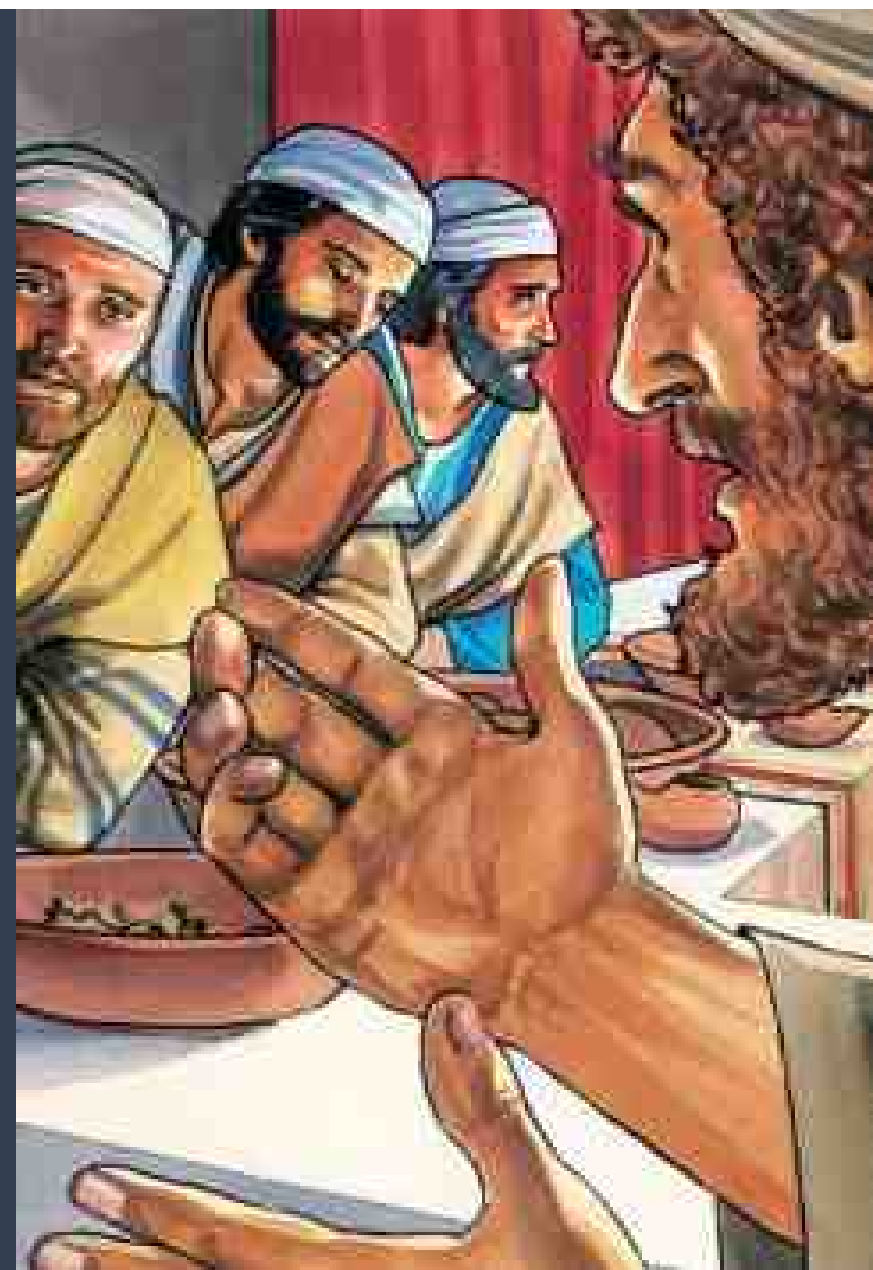
- ユダは祭司長たちの元へ行くと、イエスを引き渡すと約束し、銀貨三十枚を受け取った。
- ユダにサタンが入った。(ルカ22:3)
- ユダは、イエスを祭司長たちに引き渡す機会を狙っていた。



見抜いていたイエス

マタイ26章他

- 過越しの祭りの食事のとき、イエスは、この中に裏切り者がいると言われた。
- 「まさか私のことでは？」弟子たちは驚き、狼狽したが、ユダを疑う者は一人もいなかった。



ユダの裏切り

マタイ26章他

「ユダはパン切れを受けると、すぐに出て行った。時は夜であった。ヨハネ 13:30」

- ユダは立ち去ったが、イエスに使いに出されたのだと皆は思っていた。
- イエスにばれていると分かったユダは、祭司長たちに急いで伝えにいったのだ。

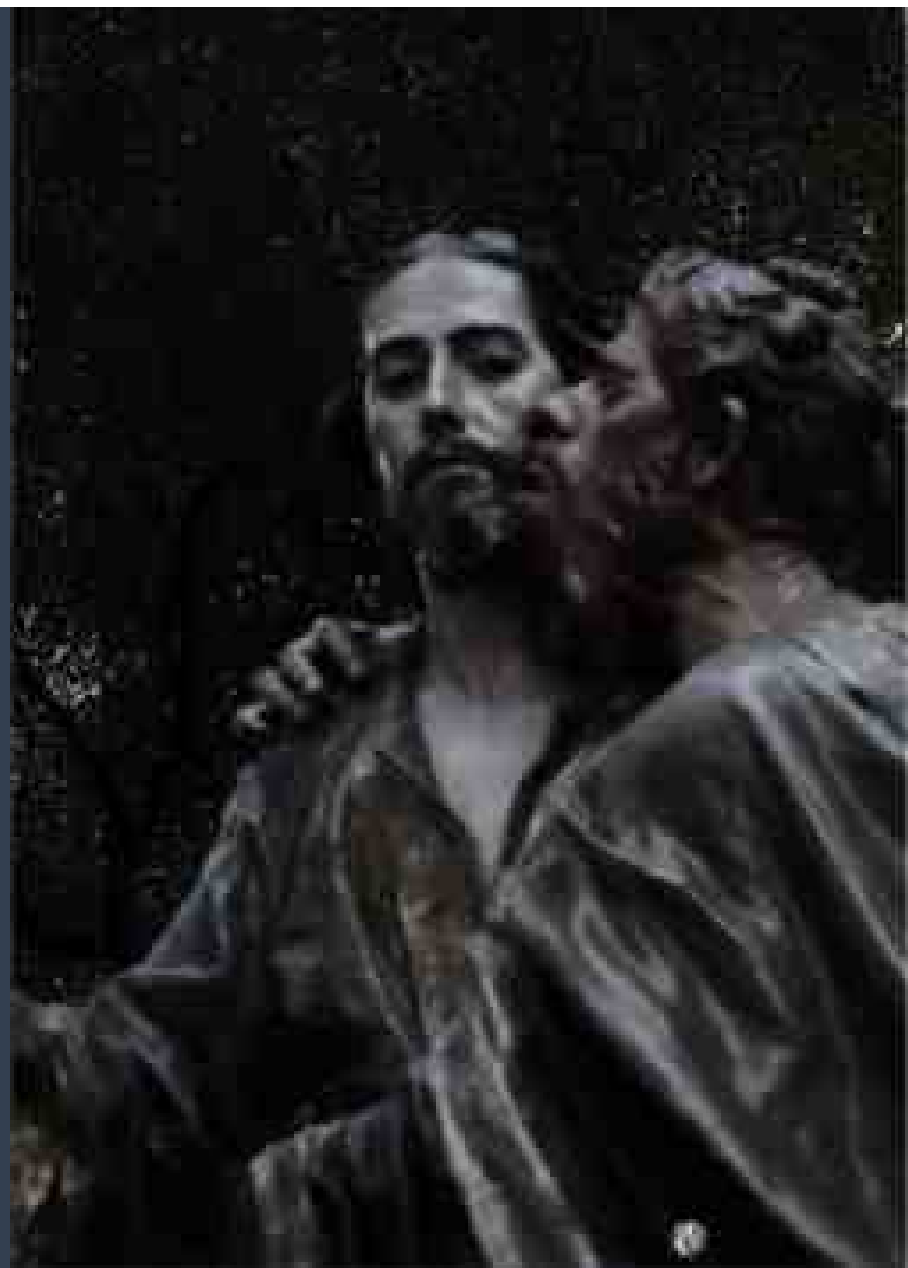


ユダの裏切り

マタイ27章他

■ユダは、イエスがいつも集っていたオリーブ山の祈りの場所に祭司長の手下たちを案内した。

■ユダはイエスにくちづけした。
暗闇の中、敵に教える合図だった。
「くちづけで私を裏切るのか」とイエスは言われた。



ユダの後悔

マタイ27章

■朝になり、ユダは、イエスが、議会の裁判で、死罪に定められたと知り、後悔した。

■ユダは、神殿に銀貨を返しに行った。祭司長たちに贖罪を求めたのだ。
「私は罪のない人の血を売りました」



しかし、彼らは言った。

「われわれの知ったことか。
自分で始末することだ。」

そこで、彼は銀貨を
神殿に投げ込んで立ち去った。
そして出て行って首をつった。

マタイ27:5



ユダへの裁き

マタイ27章

■発見されたユダの死体は、都の外の
ゴミ捨て場だった谷*になげすてられた。

*ゲン・ヒノム →ゲヘナ(地獄)

■陶器師の土地に落ちた死体は裂け、
地面が血で染まった。
祭司たちは、汚れた土地だと言って、
あの銀貨で買い取り、異邦人の墓にした。






III. 和解の食卓

イエスは、私たちの罪のため
十字架にかけられ、
死んで墓にほうむられた。

そして、三日目の朝になった。





女たちが、弟子たちのところに
やってきた。
イエス様の墓がからっぽだと
言うのだ。

イエスの復活

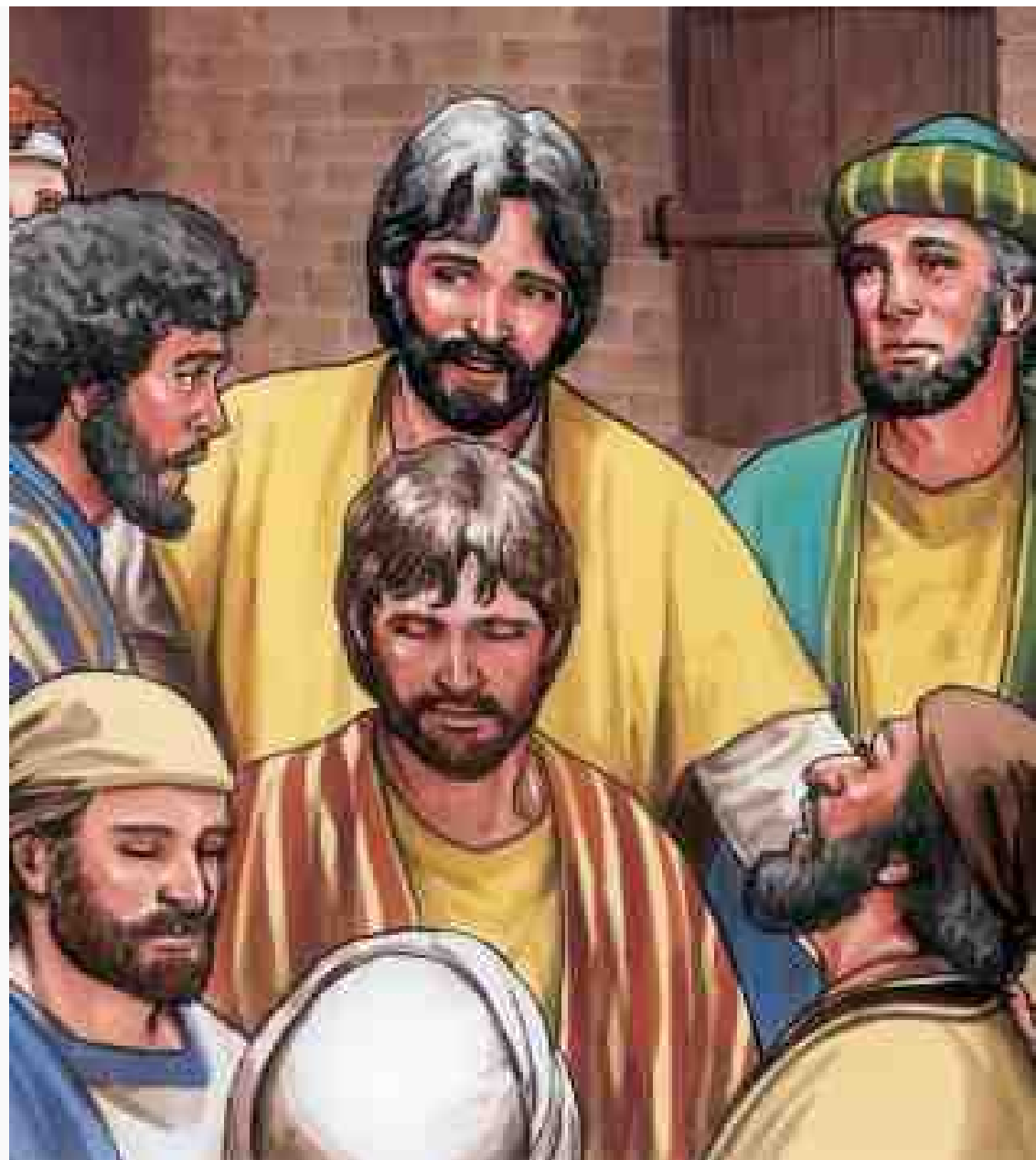
ヨハネ6章

- ペテロは、墓に走って行った。確かに墓は、からっぽだった。
- 「私は十字架で死んで復活する」ペテロは、イエス様の約束を思い出した。



弟子たちへの出現

- 閉じこもっていた弟子たちに、突然、イエスが現れた。本当に復活されたのだ。
- イエスは、忽然と姿を消した。
- 「ガリラヤで会おう」
弟子たちはイエスの言葉を思い出した。



ガリラヤ湖で

ヨハネ21章

- ガリラヤで弟子たちは待っていたが、イエスは、なかなか現れなかった。
- ペテロは、仲間たちを誘い、漁に出た。もう弟子の資格はないと思っていた。
- 一晩かかっても一匹もとれなかった。



岸辺に立つ人

ヨハネ21章

- その時、岸に立っていた人が、船の右側に網を下ろしなさいと言った。
- 漁師たちには、ありえない方法だった。そんなことをすれば魚は逃げてしまう。
- しかし、不思議と弟子たちは従った。



メシアのしるし

ヨハネ21章

- すると信じられないことが起こった。
網に魚がびっしりかかったのだ。
- 弟子のヨハネが、「主だ」とさげんだ。
- ペテロは、湖にとびこんで、
イエス様のもとにかけつけた。



和解の食卓

ヨハネ21章

- イエスは、魚を焼いて待っていた。
- イエスは、ペテロをゆるされていた。
- 和解の食卓を用意して、弟子たちを招いてくださったのだ。



イエスの問いかけ

ヨハネ21章

- イエスはペテロに言った。
「私を愛していますか」
- 「はい、主よ、私があなただを愛していることは、あなたがごぞんじです」
ペテロは、それしか言えなかった。
- イエス様は、言われた。
「私の羊を飼いなさい」



イエスの問いかけ

ヨハネ21章

- イエスは、「愛しているか」と三回も同じことを聞かれた。
- ペテロは、心を痛めつつ、同じ返事を繰り返した。
- 自分の弱さを思い知らされていた。



イエスの命令

ヨハネ21章

- 打ち砕かれたペテロを、
イエスは、リーダーに命じられた。
- イエスは、最後に命じられた。
「私に従いなさい」
- イエスは、ペテロが命をかけて
主に従う者になると知っていた。





IV. まとめと適用

ガリラヤ湖の朝日

ユダの罪とペテロの罪

■ ユダは、人々の間では誰よりも信仰深いと思われていたが、主イエスへの献金を盗み、人と神をあざむき続けていた。

→ **悪いと分かって、ずっと続けてきた罪**

本当は、イエスを信じていなかった。信頼はなかった。

■ ペテロは、とっさに「知らない」と三度くりかえした。

→ **自分の弱さから犯した罪**

イエスを信じていたが、自分の弱さの理解が浅かった。

悔い改めのないまま、習慣的に犯し続けてきた罪はないか？

悔い改めで分かる信仰

- 最後の最後まで機会を与えられながら、ユダには、**罪の認識**はあっても、**神の前での悔い改めがなかった。**
→後悔だけなら、誰でもする。
- ペテロは、とことん自分の罪を思い知らされた。
→ペテロは、**神の前で悔い改めた。**
- 悔い改めと信仰は、直結していること。信仰者は悔い改められる。

神の前での罪の告白と、悔い改めこそ、信仰のあかし

神の前に正直になろう!!

- **神の前に正直になろう。** それは「自分に正直」とは全く別のこと。
 - ➔ 神をあざむかない。人に嘘をつかない。
自分の罪を罪として認めること。
- 開き直りとも違う。神の前に正直になることには、**痛み**が伴う。
- やがて痛みすら感じなくなってしまう、その前に、**罪を放置しておかないで、主の前に悔い改めて立ち返ろう。**
- 悔い改めて立ち返った者を、**主が癒してくださる。**

聖書に学ぶ、偽善との向き合い方

- 時に涙まで流しながら、悔い改めも、主への信頼もない人がいる。神と人を欺く演技が巧妙になるほど、破滅が近づいている。
- 悪魔に心を売り渡した**偽善者を言葉で見分けることは不可能**だ。良心が欠落した人に、嘘をつくことの躊躇は微塵もない。
→ イエスが選んだ弟子たちすら、ユダの本質を見抜けなかった。
- 主イエスが教えられたのは、**言葉によらず、実を見ること**。
裁きは主に委ねること。何より、**自分自身の偽善を放置しない**こと。

真実の愛を知らされた、ペテロに学ぼう

- 「愛します」と声高に叫び、歌い、唱える人が、愛の人なのか？
- 「わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」
あまりに控えめな、ペテロの告白にこそ、学ぼう。
- 主イエスが三度、確認されたのは、打ち砕かれたペテロの心。
→ **自分の弱さを思い知らされ、打ち砕かれた人こそ真の愛を知る。**
- 自分の内に愛などない。愛は、一方的な主の恵みに他ならない。
だから、己の心の貧しさを味わい知らされた者は、幸いだ。

★ 悔い改めて、主の愛を確かに受け取ろう ★

- 日々、御言葉を味わい、日常に適用し、聖書理解を深めていく。その過程で必ず露わになる、**見過ごしてきた自分の罪がある。**
- 向き合えば、罪への自分の無力さに、打ち砕かれるしかない。絶望の淵で思い起こすべきは、**主が祈ってくださっていること。**
- 主の前に悔い改めて告白するなら、必ず実感させられる。私のために十字架にかけられ、天で今も祈り続けておられる**主イエス・キリストが、私を憐れみ、愛してくださっている。**

■イエスのペテロへの約束のことば

ルカによる福音書22:31～32

「シモン、シモン。見なさい。サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

しかし、わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

勇気を出して踏み出そう 主イエスが祈り、愛されている

「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死に、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活した^{しん}こと、を信じます。

^{しゅ}主よ。あなたは、^{みす}見過ごしていた^{わたし}私の^{つみ}罪をあらわにされます。

^む向き合えば、^あ絶望し、^{ぜつぼう}打ち砕かれるしかありません。

^{みまえ}御前に^く悔い改めて^{あらた}立ち返りますから、^{わたし}私を^{あわ}憐れみ^{たす}助けてください。

^{しんじつ}真実に、^{しゅ}主の^{あい}愛を知り、^{あい}あなたの^い愛に^{もの}生きる者と^か変えてください。

主イエス・キリストのみ^な名によって、お祈り^{いの}します。アーメン